

令和３年度第４回東海農政局農業農村整備等事業技術検討会
(補助事業の事後評価) 議事概要

- 1 日時： 令和４年２月１８日（金）１４：１５～１５：００
- 2 場所： 東海農政局第１会議室（Web 会議形式）
- 3 対象地区： 農村地域防災減災事業（地盤沈下対策事業）「日光川二期地区」
- 4 出席委員： 千家正照 岐阜大学名誉教授（委員長）
武田美恵 愛知工業大学工学部教授
徳田博美 名古屋大学大学院生命農学研究科教授
水谷香織 パブリック・ハーツ（株）代表取締役

5 議事概要：

令和３年度第４回東海農政局農業農村整備等事業技術検討会を開催し、本年度の補助事業の事後評価実施地区である農村地域防災減災事業（地盤沈下対策事業）「日光川二期地区」に係る事後評価地区別結果書（案）に対して、技術検討会としての意見の取りまとめを行った。

審議の概要は以下のとおり。

（千家委員長）

第３回技術検討会での審議内容等を踏まえ、事前に各委員より意見を頂戴し、委員長案として取りまとめたものを配付したので読み上げる。

「本事業の実施により農業用排水施設の施設機能が回復し、基準雨量に近い豪雨の際にも湛水被害が発生せず、農業生産の継続と農業経営の安定に大きく寄与していることを確認した。併せて、農用地以外の地域内の家屋や公共施設についても湛水被害が未然に防止され、地域の農業生産のみならず地域住民の安全性の確保など、流域治水としての効果が発現していることは極めて高く評価できる。

一方、これら施設の維持管理には多大な労力と費用が必要となること、施設の管理担当者の高齢化や後継者の確保が将来的な課題となっていること、異常気象による災害が顕著なこの時代、防災面での役割がさらに重要になることから、今後は、ICT 技術などを積極的に導入した省力化に向けての整備とともに、施設の維持管理について地域全体で考えていくことが必要である。」

以上となるが、意見等あれば発言をお願いします。

（各委員）

特に意見無しとの発言あり。

（千家委員長）

それでは、この内容をもって、技術検討会の意見として提出する。

以上で、技術検討会を終了する。